


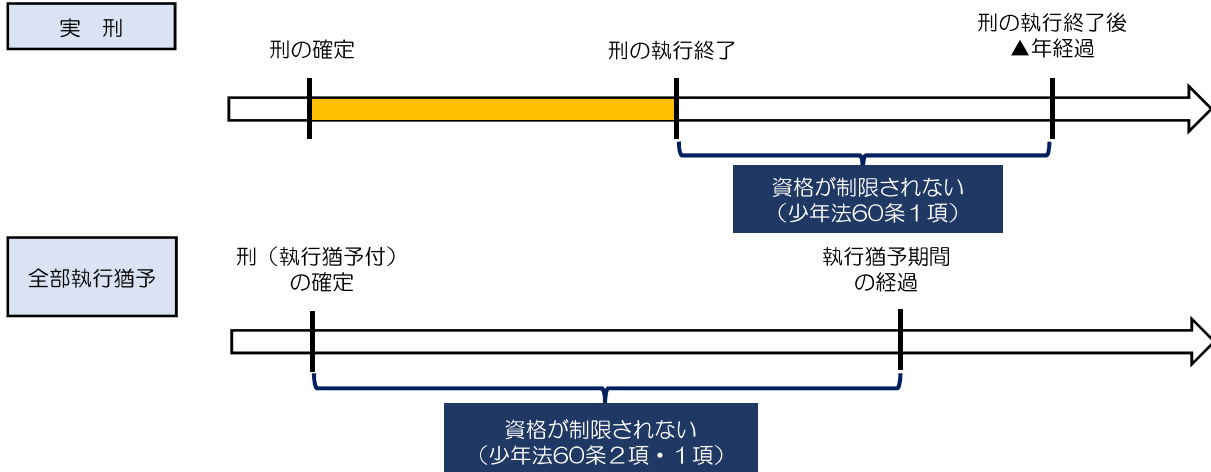
少年法第60条（資格制限の特則）について

資格制限規定の例

禁錮以上の刑に処せられ、その刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から▲年を経過しない者

【改正少年法施行前（令和4年3月31日まで）の少年（犯行時20歳未満）の資格制限】

※  資格が制限される期間




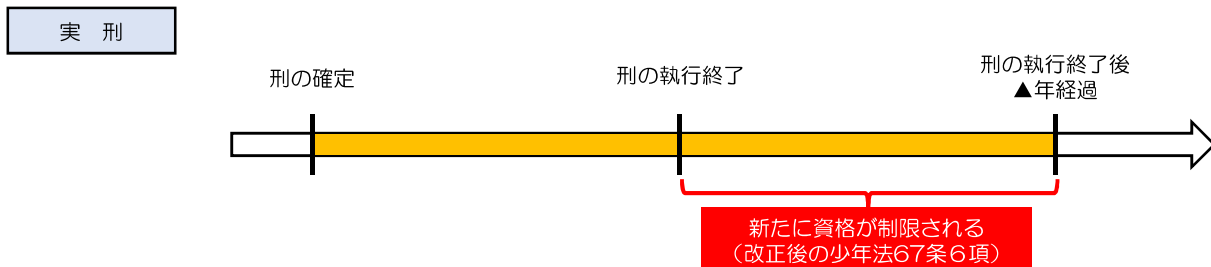
※ 執行猶予期間が経過したときは刑の言渡しが効力を失うものとされます（刑法27条）

※ 執行猶予が取り消された場合は、猶予取消刑が確定したときから刑の執行終了まで資格が制限されます（少年法60条3項・1項）

**犯行時18歳以上の少年（特定少年）
について取扱いが変わります！**

【改正少年法施行後（令和4年4月1日から）の少年（犯行時18歳以上）の資格制限】

※  資格が制限される期間

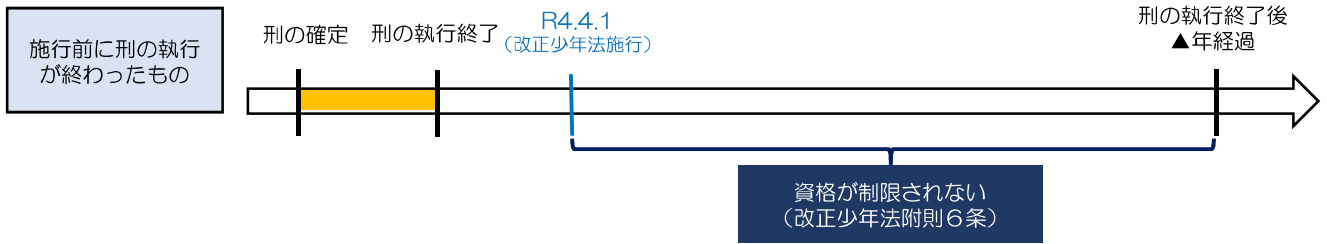


20歳以上の者と同様に、「禁錮以上の刑に処せられ、その刑の執行を終わ…った日から▲年を経過しない者」として、新たに**資格が制限されます（改正後の少年法67条6項）**

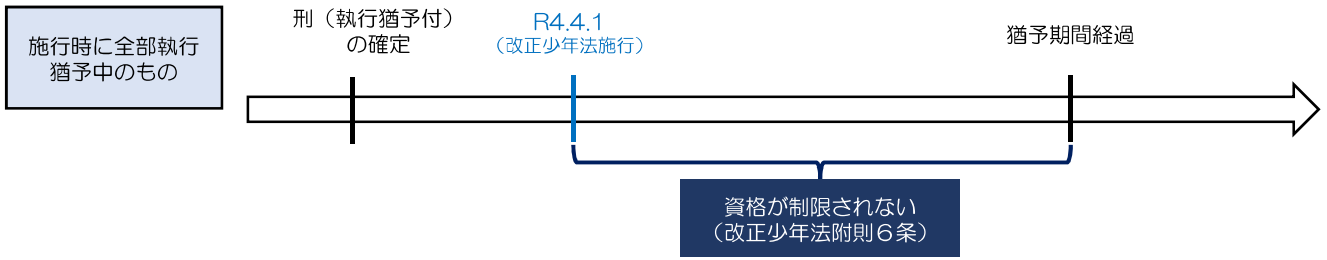
20歳以上の者と同様に、執行猶予期間が経過するまでの間は、「禁錮以上の刑に処せられ、その刑の…執行を受けることがなくなった日から▲年を経過しない者」として、新たに**資格が制限されます（改正後の少年法67条6項）**

※ 執行猶予期間が経過したときは刑の言渡しが効力を失うものとされ（刑法27条）、以後は資格が制限されません

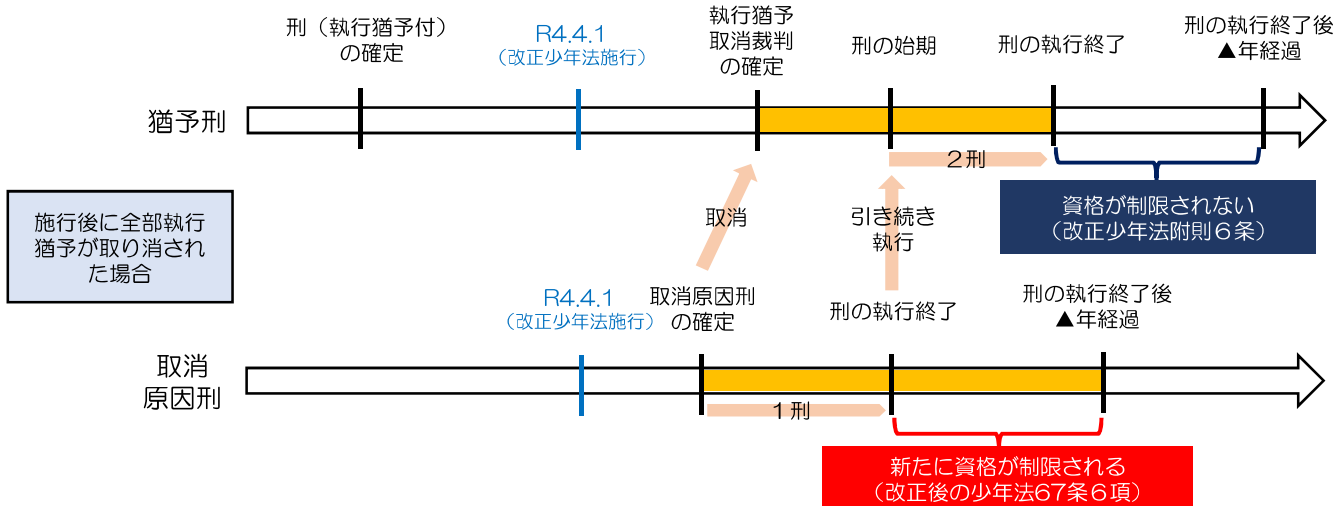
【改正少年法の経過措置規定の適用について】



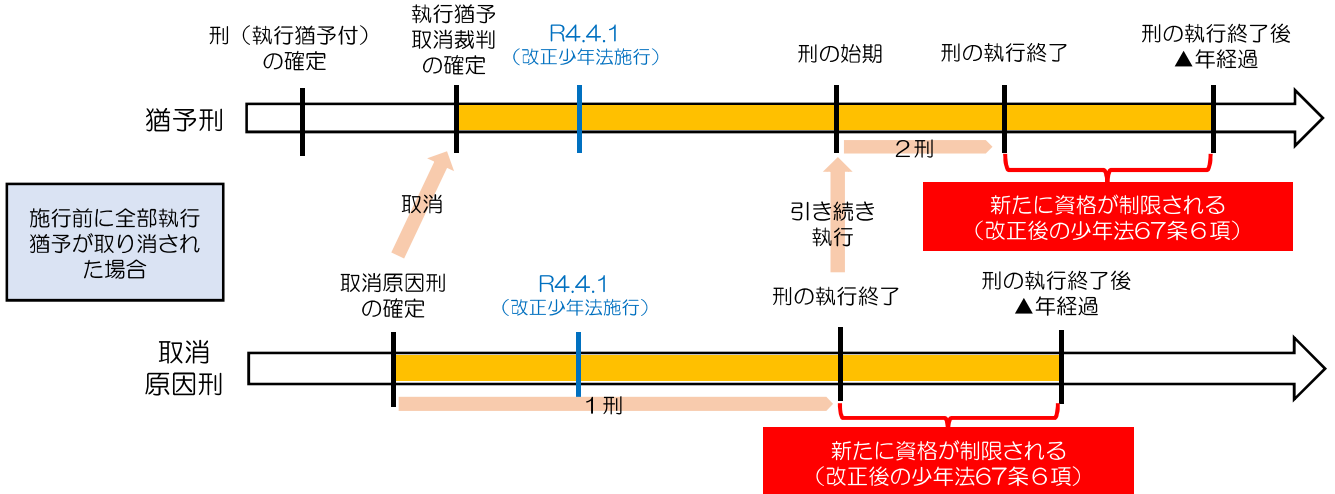
改正少年法施行前に刑の執行を受け終わった者については、**資格が制限されません(改正少年法附則6条)**



改正少年法施行時に全部執行猶予中の者については、**資格が制限されません(改正少年法附則6条)**



改正少年法施行後に全部執行猶予が取り消された場合、「施行の際現に…執行猶予中のもの」に該当するため、**猶予取消刑については、資格が制限されません(改正少年法附則6条)**



改正少年法施行前に全部執行猶予が取り消された場合、「施行の際現に…執行猶予中のもの」に該当しないため、**猶予取消刑については、資格が制限されます(改正後の少年法67条6項)**

※ 上記は、いずれも犯行時18・19歳であった少年の資格制限に関するものです